

# 石垣復旧工事室だより No.3

令和 2年 1月 31日

## 史跡丸亀城跡石垣復旧専門部 委員県外研修

10月11日（金）丸亀跡石垣復旧専門部会委員県外研修を山梨県甲府市で行いました。本格復旧工事における実践的な課題に対応するため、他城の事例に学び、意見交換をおこないました。

甲府城は自然石を使った「野面（のづら）積み」という技法で積まれた石垣です。石垣の長寿命化と、歴史景観保護の取組みが参考になりました。



## 地質調査開始



石垣を構成する背面盛土（石垣の裏側の土）の性質や、丸亀城の基礎となる亀山の岩層ラインを明らかにするため、8月28日～11月末まで、地質調査（ボーリング）を行いました。

岩盤層がどのようなになっているのか、丸亀城内の土の性質を調べ、これまでに行った調査結果とあわせて、復旧工法の検討を行うことになります。

## 第4回丸亀城石垣復旧専門部会開催

12月7日（土）第4回丸亀城石垣復旧専門部会を開催しました。ボーリング調査結果と工事方針（案）、石垣復旧に伴う文化財調査の方法についてご審議いただき、新補石材（新たに補填する石材）として、築城時に使用していたと思われる、瀬戸内産の石の使用を考えていく方針が決まりました。



## PR館開設

12月12日（木）丸亀城石垣崩落復旧整備事業PR館が開設されました。

PR館は、工事の進ちょく状況や復旧情報を発信し、丸亀城の歴史や石垣崩落の経緯、工事の概要、最新の工事情報のパネル展示や、出土品の展示をします。

丸亀城重ね押しスタンプラリーの第4チェックポイントとなっており、屋上には工事現場を一望できる、展望デッキを設置しました。

オープニングセレモニーではテープカットを行い、賑やかなオープニングとなりました。

年中無休。開館時間は天守と同様の午前9時から午後4時30分です。

皆様のご来館をお待ちしております。



旧城内グラウンド（資料館南側）にできました。

PR館のオープニングセレモニーを行いました。



## 地中レーダ

地中レーダ探査は、地表から地中に向けて電磁波を放射し、その反射波を捉えることにより地下浅部の地表構造や空洞、埋設物を掘らずに探査する方法です。

三の丸石垣解体工事の前に地中レーダ探査を行い、埋設物の確認を行いました。今回の調査では地面から地下2～3m下に埋設物は見つかりませんでした。

## 地中レーダ探査の様子



## 帯曲輪周辺



## 地中レーダ調査位置図

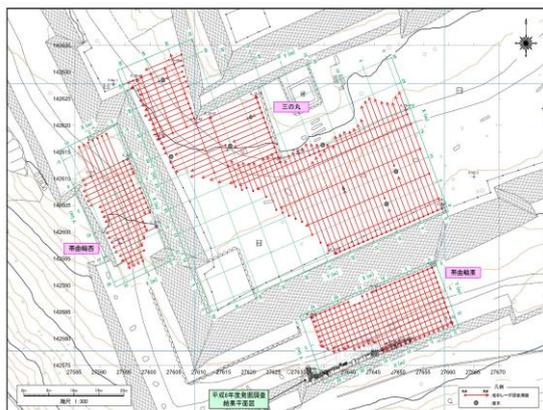


図1-1 地中レーダ調査の調査位置図

## 三の丸石垣解体工事

三の丸石垣を解体するため、三の丸付近に転落している崩落石材を撤去し、12月23日(月)より足場を組み始めました。

石面清掃を行い、復旧時の目安とするため、50cm間隔でメッシュ(格子)の墨打ちをしています。足場も完成し、1月31日(金)から三の丸石垣の解体に取りかかります。

## 三の丸石垣西面に組まれた足場



## PR館展望デッキから見た工事現場



## 「石垣復旧工事室」が「丸亀城管理室」に変わりました

丸亀市役所内の組織変更に伴い、令和2年1月1日、文化財保存活用課ができました。

丸亀城の石垣崩落復旧整備事業を迅速、確実に進めることを目的に、教育部に文化財保存活用課「丸亀城管理室」が新設されました。

今後、丸亀城全体の保存活用に努めます。

作成：丸亀市教育部 文化財保存活用課  
丸亀城管理室 TEL0877-23-2107